

CSR REPORT

2024

株式会社中外 CSR報告書

株式会社中外

CSR報告書2024

愛知県名古屋市中区千代田5-21-11 中外ビル

<https://chugai-jp.com/>



Message

メッセージ

次の100年を目指して、 地域とともに持続可能な社会を実現していきます。

この度、新たにCSRレポートを発行させていただく運びとなりました。当社は1948年の創業以来、経営理念のもとさまざまな活動を通して「社会への貢献」に取り組んできました。事業活動におきましては多くの情報が公開されていますが、今後さらに「人優位な経営」を行っていくためには、私たちが事業に取り組む想いや姿勢、社会や地域に向けた多様な活動についても、広くステークホルダーの皆様にご覧いただく必要があると考え、今回の発行に至りました。

今世界では、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーなどの実現が急務となっており、当社でもこれらの課題に対する活動を進めています。2024年度の

動きとしましては、組織を刷新し専任部署となるカーボンニュートラル推進室を設置しました。これにより、本部を中心としたCO₂削減の啓蒙を強化し、各部署が常に高い意識をもって事業に取り組んで欲しいと考えています。また他にも、CO₂フリー電力の導入や健康経営優良法人の認定、2024年の年頭に発生した能登半島地震の災害義援金など、幅広い取り組みを実現することができました。当社は、商社からスタートし、その後製造業、ソリューション事業へと成長をとげながら、今では愛知県をはじめとする様々な地域で事業をさせていただいています。さらに80年、100年と事業を続けていくためにも、今後も地域に貢献し、持続可能な社会の実現に向けて、邁進していきます。

代表取締役社長
三輪 義勝

中外グループCSR方針

- 私たち(株式会社中外およびそのグループ)は、「経営理念」に基づき、各国・地域での事業活動を通じて、社会の持続可能な発展に貢献します。
- 私たちは、法令ならびにそれらの精神を遵守し、誠実な事業活動を行います。
- 私たちは、持続的な発展のために、以下のとおり全てのステークホルダーの皆様を重視した経営を行い、オープンで公正なコミュニケーションを通じて、ステークホルダーの皆様にご信頼されるよう努めます。
- 私たちは、サプライヤー様がこの方針の趣旨を支持し、それに基づいて行動頂くことを期待します。

お客様

- 私たちは、“お客様第一”という経営理念に基づき、お客様の様々なニーズに応える安全・高品質な製品・サービスを開発・提供します。
- 私たちは、知的財産を適正に取り扱うとともに、お客様をはじめ事業活動に関わる全ての人々の個人情報保護に努めます。

社 員

- 私たちは、経営トップの率先垂範のもと、コンプライアンスを徹底し、倫理的な行動を促す企業文化を育て、それを実践していきます。
- 私たちは、「社員の幸福の実現」のため社員を大切に、個々人の能力開発やキャリア形成など人材育成に努めます。
- 私たちは、あらゆる雇用の場面において、公正かつ均等な雇用機会を提供するとともに、社員に対する差別を行いません。
- 私たちは、社員の人権を尊重し、いかなる形であれ強制労働・児童労働は行いません。
- 私たちは、社員の代表、若しくは社員との誠実な対話と協議を通じ、「相互信頼・相互責任」の価値観を構築し、共に分かち合います。そして、従業員が自由に結社する権利あるいは結社しない権利を、事業活動を行う国の法令に基づいて認めます。
- 私たちは、社員の職務上の安全・健康の確保を最優先とし、事故・災害の未然防止に努めます。

取引先様

- 私たちは、取引先様を尊重し、取引を通じて信頼関係を築き上げ、共存共栄を目指します。
- 私たちは、サプライヤー様の決定にあたっては、公平・公正に門戸を開き、品質・価格・納期・技術・環境など総合的に判断します。
- 私たちは、各国・地域の競争法を遵守し、公正かつ自由な取引に努めます。

株主様

- 私たちは、株主様の利益のために、長期安定的な成長を通じ企業価値の向上を目指します。
- 私たちは、株主様をはじめステークホルダーの皆様に対し、経営・財務・環境保全などの情報を、適宜・適切に開示します。

地域社会・グローバル社会

〈 環境 〉

- 私たちは、あらゆる事業活動を通じ環境保全に努め、環境と経済を両立する製品・サービスを開発・提供するとともに、地球温暖化防止、生物多様性の保全等、環境との調和ある成長を目指します。(詳細は、株式会社中外 環境方針を参照)

〈 社会 〉

- 私たちは、各国の文化・慣習・歴史および法令を尊重し、地域社会から信頼される経営を行います。
- 私たちは、政府や取引先による贈収賄を許さず、政治・行政および取引先様と誠実かつ公正な関係づくりに努めます。
- 私たちは、人権・環境等の社会問題を引き起こす原因となりうる原材料(例:コンゴ産紛争鉱物等*)の使用による地域社会への影響を考慮した調達活動を行います。そして、懸念のある場合には、使用回避に努めます。

※コンゴ民主共和国およびその周辺諸国から産出される鉱物で、且つ同地域の武装勢力の活動資金となっている鉱物(コンフリクトミネラル)

〈 社会貢献 〉

- 私たちは、事業活動を行うあらゆる地域において、豊かな地域社会とその発展に向け、積極的に社会貢献活動を行います。

Enviroment

環境

環境活動として環境方針に従い、ライフサイクルの視点から自動車部品等の設計、生産活動、および営業活動において、市場で使用される製品の環境側面や廃棄時の環境を配慮した活動を通し、地球環境保護に努め、当社で働く全ての人に適用します。

環境方針

当社は、地球規模での温暖化現象、自然界での生態系の破壊が叫ばれている中で、よりよい地球環境を目指して環境保護に努め持続可能な社会の実現に貢献します。

従業員一人ひとりが、自覚と責任を持ち、地域社会との環境調和をはかり、環境保全の為に活動を推進します。

以上の方針の基、サステナブルな社会の実現に貢献します。

環境行動指針

当社は、自動車部品等の開発・製造販売および化成品、電気・電子部品等の販売事業を進めてまいりました。その中で環境との調和をはかり環境保全に努めて参りましたが、更に地球規模での温暖化現象、自然界での生態系の破壊が叫ばれている中で、よりよい地球環境を目指して環境保護に努め持続可能な社会の実現に貢献します。

- ◆ 1 環境に関する法律・規制・協定等を順守するとともに、自主管理基準の設定・維持に努めます。
- ◆ 2 環境に配慮した商品・製品の開発・設計・製造・販売を推進し汚染の予防に努め、排出物や廃棄物の発生を極力抑えエネルギー消費の少ない職場づくりを目指します。
- ◆ 3 環境保全のため環境目標を設定し、日常業務の中で全員で継続的な改善・維持活動を推進します。
- ◆ 4 従業員一人ひとりが自覚と責任を持ち、環境意識向上させるため教育と訓練を計画的に実施します。
- ◆ 5 地域社会との環境調和をはかり、環境保護に努めます。

環境に対する取り組み

ISO14001 認証

2001年5月に三好工場と刈谷支店でISO14001認証を取得して以来、CSR・ISO委員会を設置し、委員会を中心に全社で環境改善活動に取り組んでいます。

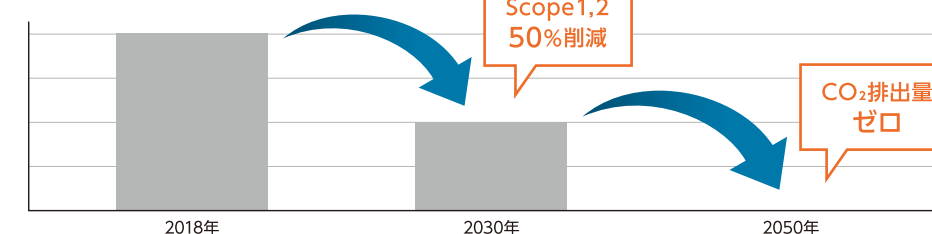


カーボンニュートラルへの取り組み

CO₂フリー電気の導入

当社は、「気候変動への対応」を掲げ、温室効果ガスの排出量増加に起因する地球温暖化がもたらす気候変動に積極的に対応していきます。

〈CO₂排出量削減目標〉



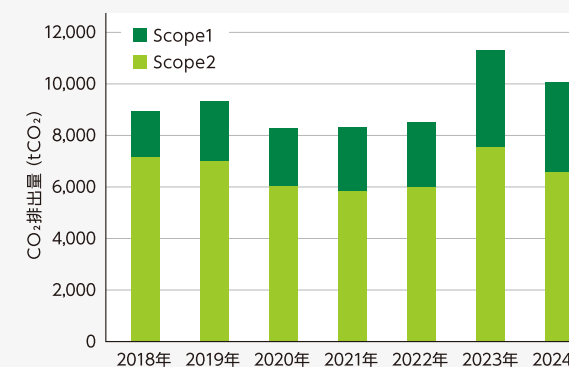
▶ 2024年1月より、三好工場、春日井工場で使用する電気の3%をCO₂フリー電気を購入



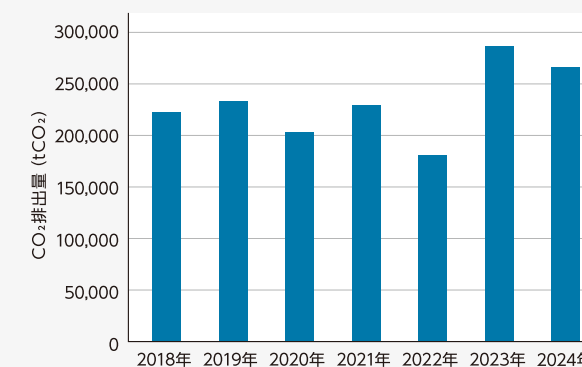
CO₂排出量

製品品種の割合の変動に伴い、CO₂排出量が増加しました。しかし、電力会社が設定する電力の使用に伴うCO₂排出係数の減少に伴い、トータルでのCO₂排出量は減少しました。

〈Scope1&2(グループ全体) CO₂排出量推移〉



〈Scope3(中外単独) CO₂排出量推移〉



リサイクルの取り組み

廃材を活用した防音インテリアを開発

当社が開発した「のどかな」は、防音のプロが培った「防音コーディネート力」と「技術」から生まれた廃材を活用したプロダクトラインです。生活空間やそこで過ごす時間に「やすらぎ」をもたらします。

遊び心と機能の両立させた「のどかな、葉」

他にはない可愛い見た目と機能性を兼ね備えています。自然を模したデザインは、部屋を明るくし、使い方次第で様々なデザインを作り出すことができます。

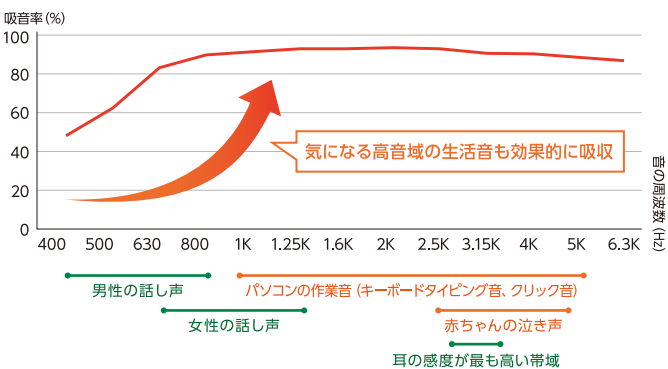


環境への配慮したリサイクル素材

不要になった衣類を再利用し、環境に配慮しています。また本製品自体も再生可能で、回収された製品は再度反毛加工し、製品の資源として何度でも再利用できるよう考慮しています。



〈残響室法吸音率〉※残響室にて測定



- 音の反響を抑え、集中できる空間づくりに適した吸音材です。
- 「のどかな」の製品を通して跳ね返った音は、吸音や軽減の効果が期待されます。
- 特に高音域への効果が期待できます。
- 隙間なく設置いただくとより効果的です。

省エネに関する取り組み

客先製造ラインへの断熱材使用による省エネ提案

熱に関するお困り事や課題に対して、熱設計補助・各種熱測定・サーマルシミュレーションを用いた最適な熱対策製品・構成提案を行っています。

現状 製造ラインにて、加熱炉から出る工程において、製造中の製品が自然放熱により、温度が低下。再加熱のため、再度エネルギーを消費する。

提案 加熱炉から出る工程後に、断熱材を施工することで、保温効果によりエネルギーの削減が可能。



Social 社会

ステークホルダー、サプライヤーへの取り組み

中外サプライヤー様CSRガイドライン

(1) コンプライアンス

- 法令の遵守
- ・ 各国・地域の法令およびその精神を遵守する。コンプライアンス徹底のための、全社的な方針や体制、行動指針・通報制度・教育等の仕組みを整備し、実施している。

- 競争法の遵守
- ・ 各国・地域の競争法（日本では独禁法、下請法等）を遵守し、私的独占、不当な取引制限（カルテル、入札談合等）、不正な取引方法、優越的地位の濫用等の行為を行わない。

- 腐敗防止
- ・ 政治献金・寄付等は各国・地域の法令に基づき実施し、政治・行政と透明かつ公正な関係づくりに努めている。
- ・ 不当な利益・優遇措置の取得・維持を目的に、ビジネスパートナーに対して、接待・贈答・金銭の授受・供与は行わない。

- 反社会勢力の排除
- ・ 社会の秩序や安全に脅威を与える反社会勢力や団体とは一切関係を持たない。

- 機密情報の管理・保護
- ・ お客様・第三者・自社社員の個人情報、およびお客様・第三者・自社の機密情報は、正当な方法で入手し、厳重に管理し、適正な範囲で利用・保護している。

- 輸出取引管理
- ・ 各国・地域の法令等で規制される技術・物品等の輸出に関して、適切な輸出手続・管理を行っている。

- 知的財産の保護
- ・ 自社が保有あるいは自社に帰属する知的財産権を保護している。
- ・ 第三者の知的財産の不正入手・使用、権利侵害を行わない。

- 責任ある原材料調達
- ・ 人権・環境等の社会問題を引き起こす原因となりうる原材料（紛争鉱物等）使用による地域社会への影響を考慮した調達活動を行うこととし、懸念のある場合は使用回避に向けた施策を行う。

- 通報者の保護
- ・ 当社は、内部通報に関する機密性ならびに通報者の匿名性を保護し、通報者に対する報復を排除します。

(2) 人権・労働

- 差別撤廃
- ・ あらゆる雇用の場面(*)において、人種・民族や出身国籍・宗教・性別等を理由とした差別を行わない。
- *応募、採用、昇進、賃金、解雇、退職、業務付与、懲罰など

- 人権尊重
- ・ 人種・民族や出身国籍・宗教・性別等を理由とした、職場におけるあらゆる形態のハラスメントを許さない。

- 児童労働の禁止
- ・ 各国・地域の法令による就労可能年齢に達しない児童の労働は認めない。
- ・ 若年労働者を危険有害業務に就労させない。

- 強制労働の禁止
- ・ 全ての労働は自発的であること、および社員が自由に離職できることを確実に保証し、強制労働は行わない。

- 賃金
- ・ 最低賃金、超過勤務、賃金控除、出来高賃金、その他給付等に関する各国・地域の法令を遵守している。

- 労働時間
- ・ 従業員の労働時間（超過勤務を含む）の決定、および休日・年次有給休暇の付与その他について、各国・地域の法令を遵守している。

- 従業員との対話・協議
- ・従業員の代表、若しくは社員と、誠実に対話・協議している。

- 結社の自由
- ・従業員が自由に結社する権利あるいは結社しない権利を、事業活動を行う国の該当法令に基づいて認めるとともに、従業員が経営層へ、報復、脅迫や嫌がらせを恐れずに、オープンかつ直接コミュニケーションできる権利を保障する。

- 安全・健康な労働環境
- ・従業員の職務上の安全・健康の確保を最優先とし、事故・災害の未然防止に努めている。

- 人材育成
- ・人材育成を通じて、社員のキャリア形成と能力開発を支援している。

(3) 環境

- 環境マネジメント
- ・幅広い環境活動を推進するため、各国・地域の法令を遵守するとともに、全社的な管理の仕組みを構築して、継続的に運用・改善している。

- 気候変動への対応
- ・脱炭素経営を推進し、事業活動全般における温室効果ガスの排出量を把握し、削減するとともにエネルギーの有効活用に取り組んでいる。

- 大気・水・土壌等の環境汚染防止
- ・大気、水、土壌等の汚染防止に関する各国・地域の法令を遵守するとともに、継続的な監視と汚染物質の削減を行い、環境汚染を防止している。

- 省資源・廃棄物削減
- ・廃棄物の適正処理・リサイクル等に関する各国・地域の法令を遵守するとともに、資源の有効活用を通じて廃棄物最終処分量の削減に取り組んでいる。

- 化学物質管理
- ・環境汚染の可能性のある化学物質の安全な管理を行っている。
- ・製品については、各国・地域の法令で禁止された化学物質を、当該国・地域において含有していない。
- ・製造工程においても禁止された化学物質は使用せず、各国・地域の法令で指定された化学物質に関しては、法令に基づき排出量の把握・行政への報告を行っている。

(4) 安全・品質

- お客様ニーズに応える製品・サービスの提供
- ・製品・サービスの納期を確実に守り、長期に安定して供給できる体制を構築する。

- 製品・サービスに関する適切な情報の提供
- ・製品・サービスに関する適切な情報をお客様に提供している。

- 製品・サービスの安全確保
- ・各国・地域ごとに定められた安全法規等を満たした製品・サービスを生産・提供している。

- 製品・サービスの品質確保
- ・品質を確保する全社的な仕組みを構築・運用している。

(5) 情報開示

- ステークホルダーへの情報の開示
- ・事業活動の内容・財務状況・業績・環境保全などの情報をステークホルダーに対し、適宜・適切に開示するとともに、オープンで公正なコミュニケーションを通じてステークホルダーとの相互理解、信頼関係の維持・発展に努めている。

(6) リスクマネジメント

- リスク管理の仕組み構築・運用
- ・企業の事業活動に関するリスクを分析し、全社的な管理の仕組みを構築、運用している。
- ・コンピューターネットワーク上の脅威に対する防御策を講じて、第三者に被害が生じないように管理する。

- 事業継続計画の策定
- ・災害・事故等に対応した早期復旧のための事業継続計画(BCP:Business Continuity Plan)を策定している。

(7) 社会貢献

- 地域(コミュニティ)への貢献
- ・豊かな地域社会とその発展に向け、それぞれの地域が抱える社会的課題に目を向け、地域社会と協力しながらその解決につながる社会貢献活動を行っている。

(8) 皆様のサプライヤー様への展開

- ・皆様のサプライヤー様に対しても、上記の趣旨を踏まえた各社のCSR方針・ガイドラインを展開し、啓発活動を通じ皆様のサプライヤー様におけるCSRへの取り組みの浸透・普及に努めている。
- ・浸透・普及にあたっては、サプライチェーンの全体を意識して、これを行い、また、必要に応じたフォロー・是正対応を行う。

社会貢献に向けた取り組み

国際社会の共通目標である「持続可能な社会の実現」に向けて、当社は引き続き事業活動を通じて取り組み、環境問題や社会が抱える様々な課題の解決に貢献してまいります。そして、ステークホルダーの皆様からの期待を真摯に受け止め、この活動を継続的に行うことで当社の企業価値向上と持続的な発展を続けてまいります。

交通安全立哨活動(4回/年)

自動車産業を支える一員として、交通安全教育には特に力を入れています。定期的な交通安全講習の開催や、近隣企業と合同で立哨を行い、交通事故ゼロを目指しています。

災害時募金活動

日本を襲う自然災害。「何か力になれることは…」という社員の思いから、有志による募金活動を実施し、被災地の復興支援に協力しています。

- ▶ 日本赤十字社へ、令和6年能登半島地震災害義援金として支援



健康経営の取り組み

健康宣言

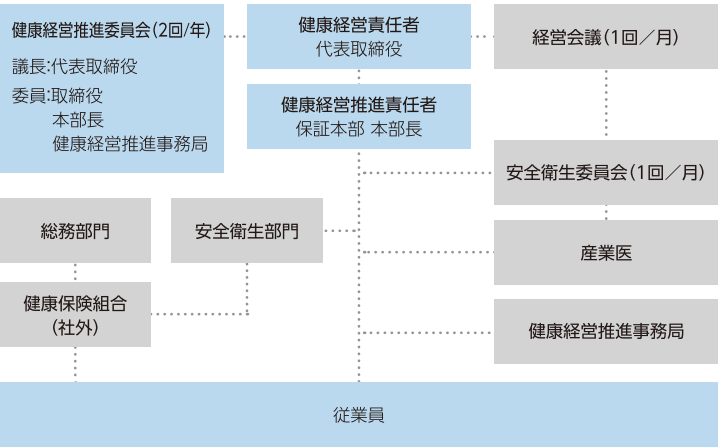
私たち中外は、取り巻く様々な環境変化に対応しながら、社員とその家族の幸福の実現に努めます。いきいきと働ける職場づくりには、社員一人一人の心身の健康が、最も重要と考えます。

「明るく、元気に、自らの健康を大切にする文化を育みます」

2024年8月 株式会社中外 代表取締役社長 三輪 義勝

健康経営を推進してまいります。

健康経営体制



健康経営認定

当社は、経済産業省と日本経営会議が共同で実施する「健康経営優良法人」2025(大規模法人部門)に認定されました。今後も健康経営を推進してまいります。



健康経営の取り組み

社内スポーツイベント

健康経営の取り組みの一環として、スポーツイベントを通じた社内交流・懇親をはかっています。



2024年10月26日
みよし市工業経済会ソフトボール



2024年11月27日
さわやか健康リレーマラソンinあいち健康の森公園

品質に対する取り組み

当社の事業活動は、営業部門と製造部門からなり、顧客の更なる満足度向上を目指し、受注・設計開発・製造・納入引渡しなどの一連の活動プロセスを通して、組織を含む最適なシステムに構築し、それを全社員一丸となってかつスピーディに運営することにあります。そのため当社は、戦略上の決定で品質マネジメントシステムを導入し、品質方針を定め継続的改善を行っております。

品質方針

当社は、常にお客様に満足いただける製品・サービスを提供するため、品質の方針を定めて事業活動に取り組めます。

- 品質の改善に自ら機会を創り出し、機会を自らを変えていきます。

品質行動指針

- 当社は、常にお客様に満足いただける製品・サービスを提供するため、品質の方針を定めて事業活動に取り組めます。
- 1 お客様のニーズに応えるため、お客様とのコミュニケーションを大切に、信頼される製品・サービスを提供します。
 - 2 よりよい品質を確保するため、品質マネジメントシステムを構築し、有効性の継続的改善に努めます。
 - 3 品質目標を設定し、実態把握と評価を通じて全員でその実現を目指します。
 - 4 常に先進的な製品・サービスを届けるために、研究開発に邁進し、最新技術を追求し続けます。
 - 5 従業員一人ひとりが品質方針を理解し、常に意識改革と自己研鑽に努めます。

ISO9001 認証

2013年に三好工場と福岡工場でISO9001を取得。
2018年には全社に認証登録範囲を拡大しています。



Governance

ガバナンス

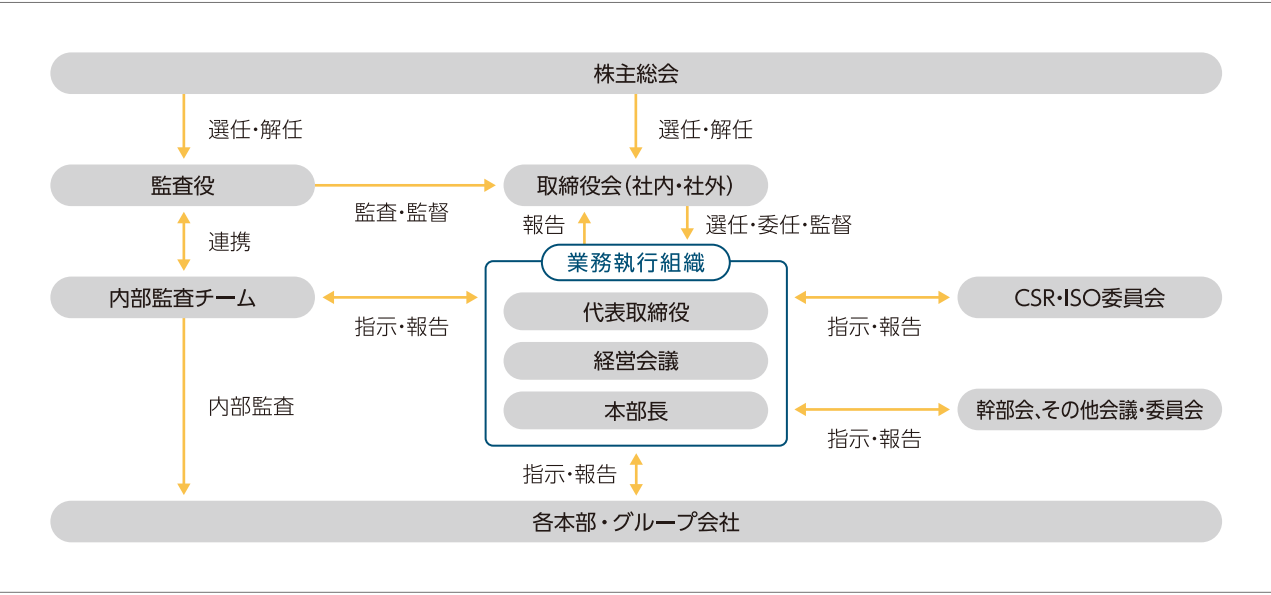
コンプライアンス研修

当社は、コンプライアンスの取り組みとして「CSR方針」、「内部通報者保護規程」を定め、コンプライアンス重視の経営体制を構築・運用しています。コンプライアンス体制の確立には、定期的かつ全社的なコンプライアンス教育が不可欠であると考えています。そのため当社は、「コンプライアンスハンドブック」を用いて、各部署での定期・継続的なコンプライアンス教育を推進しています。



コーポレートガバナンス体制

〈中外 体制図〉



コーポレートガバナンスに関する各機関の概要

取締役会 7回/年開催、取締役・社外取締役・監査役が出席	経営会議 1回/月開催、取締役・社外取締役・監査役・本部長が出席
CSR・ISO委員会 2回/年開催、取締役及び本部長が出席	幹部会 3回/年開催、取締役・社外取締役・監査役・本部長・領域長・所属長が出席